

The background is a dark blue gradient with a network of white lines and nodes. Various circular icons are scattered throughout, including a bar chart, a shopping cart, a gear, a magnifying glass, a database cylinder, a puzzle piece, a smartphone, a speech bubble, a folder, and a USB symbol. A bright, warm light source is positioned in the upper right, creating a lens flare effect. A hand is visible in the lower right, pointing towards the center of the image.

教えて!

御社の

デジタルワークプレイス

～それ、やってみてどうだった?～

16:00～18:00 第一部 事例共有&ディスカッション

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、働き方を大きく変えることを余儀なくされた企業も多いかと思います。

今回の勉強会は「デジタルワークプレイス」にフォーカス！

様々な業務をデジタルプラットフォーム上に集約していくにあたり、どんなツール・サービスを検討・導入したのか？実際に使ってみてどうだったのか？
複数企業の事例や体験談を交えつつ、ナレッジの共有を目指します。

18:10～19:00 第二部 座談会

第二部で「聞き足りない」「語り足りない」という方向けに、交流の場をご提供します。

進行メンバー

		
大石 (座長@東京)	吉崎 (座長@大阪)	古山 (事務局)

Zoom操作・ 音声ガイダンス

クオリティソフト社
PCNW事務局
川合 (かわい)



本日の事例発表者

アイレット株式会社	大石 英 氏
K株式会社	T.K 氏

第一部：事例共有&ディスカッション

アイレット株式会社

大石 英 氏

自己紹介

アイレット株式会社

クラウドインテグレーター
(※APNプレミアムコンサルティングパートナー※)

アジャイル事業部 データ分析セクション
セクションリーダー

大石 英 (オオイシ スグル)

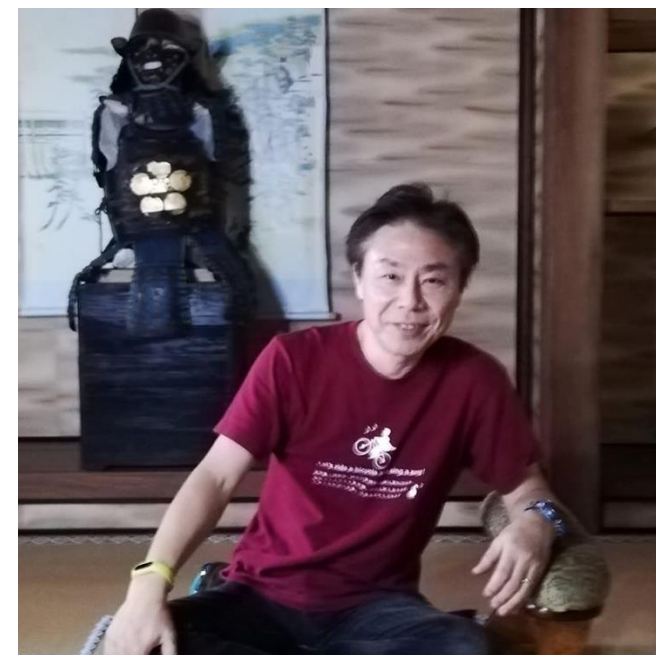
システム導入に対する立場

➡自部門で利用するサービスの選定・導入を行う

ITトレンド勉強会(東京)の座長です！

iret

www.iret.co.jp





アイレット株式会社の場合

業種：クラウドインテグレータ 拠点数：4 人数：約600名



うちのデジタルワークプレイスはこんな感じ

基本的にペーパーレス
クラウド上で全業務が完結

デジタルワークプレイス基本情報

Slack	社内コミュニケーションはSlackのみ
Backlog	各種申請類やシステム保守のインシデント管理まで、 様々な用途に利用 (かつてはメインの社内ワークフローツールとしても使っていた) また、お客様とのコミュニケーションにも利用



アイレット株式会社の場合

業種：クラウドインテグレータ 拠点数：4 人数：約600名



デジタルワークプレイス基本情報

ジョブカン	ワークフローツール
King of Time	勤怠システム (出社時には静脈認証・リモート時はブラウザの ボタン押下)
ネットde顧問	給与明細配布
CYDAS	社員名簿
HRMOS	採用管理



アイレット株式会社の場合

業種：クラウドインテグレータ 拠点数：4 人数：約600名



デジタルワークプレイス基本情報

SmartHR	人事労務システム
Box	クラウドコンテンツ管理
Google Workspace	オフィススイート
Office365	オフィススイート
DocBase	共有メモシステム



アイレット株式会社の場合

業種：クラウドインテグレータ 拠点数：4 人数：約600名



デジタルワークプレイス基本情報

Cacoo	オンライン作画ツール
PingOne	クラウドID連携ソリューション
DocuSign	電子署名サービス
GitHub	ソフトウェア開発プラットフォーム
Zendesk	クラウド型ヘルプデスク・問合せ管理ツール



アイレット株式会社の場合

業種：クラウドインテグレータ 拠点数：4 人数：約600名



デジタルワークプレイス基本情報

netscope

クラウドセキュリティソフト



アイレット株式会社の場合

業種：クラウドインテグレータ 拠点数：4 人数：約600名



コロナ禍をきっかけに どう変わった？

導入・検討した ツール・サービス	導入・検討の目的 (解決したい課題)	やってみて どうだった？
nework	部門内コミュニケーションの促進・円滑化	結局Slackで充分



アイレット株式会社の場合

業種：クラウドインテグレータ 拠点数：4 人数：約600名



元々導入していたけれど、コロナ禍を機に活用されるようになったツールは・・・

Zoom

コロナ前から導入済でしたが、Zoomでのミーティングは増えました
部門の朝会では参加者は顔出し。

（健康状態の確認の意味もあるので）

逆にミーティングでは顔出しの強制は無し

（むしろ資料投影・共有が主になっている為）

Pulse Secure（SSL-VPNツール）

そもそもリモートOKだったので導入はされていましたが、コロナを機に全社
リモート可能とする為、アクセス環境を整備しました。



アイレット株式会社の場合

業種：クラウドインテグレータ 拠点数：4 人数：約600名



ツール・サービスの導入や活用で、失敗と感じたこと

ツールが必要なのではなく、ある物をいかに活用するか

**本当にそのツール・システムが必要なのか導入しないとダメなのか、
何の為に導入するのかをちゃんと考え、見極める事が必要**



アイレット株式会社の場合

業種：クラウドインテグレータ 拠点数：4 人数：約600名



申込者からの質問 <Pick Up>

「デジタルワークプレイス」についてどのように定義づけていますか

オンライン上でビジネスを進める為のツール
特に“オンラインワークスペース”に限定するものではなく、「リモートで業務が行えるようにする何らかの手段」と考えます

コミュニケーションを取りにくい環境で役立つツールについて

ビジネスチャットがやはり有効だと思います
“Slackはハードルが高い”という意見も聞くので、“Chatwork”や“LINE WORKS”のような導入ハードルが低い製品も検討して良いのでは無いでしょうか

K株式会社

T.K 氏

自己紹介

K株式会社

医薬品・日用品製造販売業

T.K

システム導入に対する立場

➡システムの選定や導入の技術部門を担当する
主な業務はユーザーサポートです

旅行が大好きなんですがどこも行けず
出張も禁止で飛行機に飢えてます。





K株式会社の場合

業種：製造業 拠点数：国内約25 人数：約3400名



うちのデジタルワークプレイスはこんな感じ

基本的に2000年頃からパソコン・iPhoneで必要なものは完結
紙提出が必要なのは法律上もしくはわざわざ面倒にしているものだけ

デジタルワークプレイス基本情報

iPhone・モバイルWiFi	大部分の社員がiPhoneを保有 データ通信はテザリングを使用
パソコン	個人情報取り扱い部署以外は 基本的にノートパソコン利用
VPN	VPN環境は整備されており許可者は 社外からイントラ内へのアクセス可能



K株式会社の場合

業種：製造業 拠点数：国内約25 人数：約3400名



デジタルワークプレイス基本情報

G Suite	Mail・チャット・web会議など コミュニケーションツールとして利用
ファイルサーバー	基本はイントラ内に設置、VPNでアクセス 一部、GoogleDriveを利用
自社開発システム	ポータルや各種申請・業務システムなど 多くは自社開発でVPN経由で利用可能
一部パッケージ・サービス	一部、パッケージやサービスを利用 Internet・VPN経由で利用可能

デジタルワークプレイスと言っていないかわかりませんが
意外とリモートで業務出来る環境でした



K株式会社の場合

業種：製造業 拠点数：国内約25 人数：約3400名



コロナ禍をきっかけに どう変わった？

導入・検討した ツール・サービス	導入・検討の目的 (解決したい課題)	やってみて どうだった？
バーチャル オフィスツール	在宅勤務に関するアンケートを 取った際に、メンバーとの コミュニケーションに問題が ありとの回答が多くあり検討	次ページ



K株式会社の場合

業種：製造業 拠点数：国内約25 人数：約3400名



2020年春の緊急事態宣言時の在宅勤務



朝礼・終礼・社内会議
Meetで実施

商談
Web会議で実施

コミュニケーション
ハングアウト
iPhoneメール 等



K株式会社の場合

業種：製造業 拠点数：国内約25 人数：約3400名



2020年春の緊急事態宣言時の在宅勤務

通常勤務に戻ったあと、アンケート調査
社内コミュニケーションが十分できなかった

議



商談

では、今ないツールを探してみよう！



コミュニケーション
ハングアウト

バーチャルオフィスって使ったことないな 等



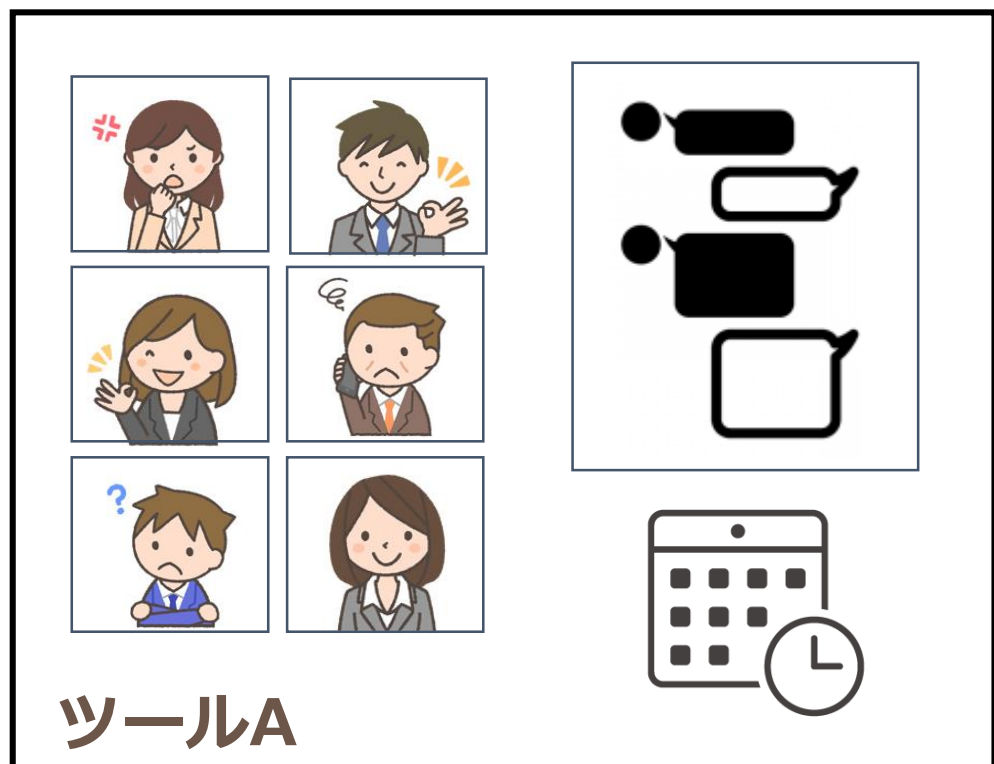
K株式会社の場合

業種：製造業 拠点数：国内約25 人数：約3400名



バーチャルオフィスツールの検討

2種類のバーチャルオフィスツールを一か月間試しに使ってみました





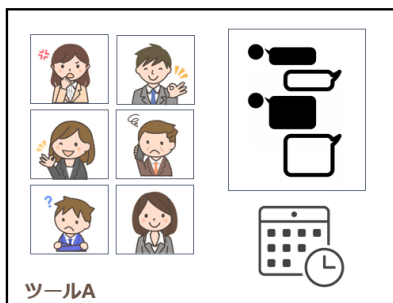
K株式会社の場合

業種：製造業 拠点数：国内約25 人数：約3400名



ツールを使った感想

ツールA



- 映っている顔画像で相手の状況がわかり連絡などが取りやすくなった (オフィス同様に困っているかどうかもわかった)
- 一緒に働いている感じがあった
- 顔が映る事で緊張感があった
- 定期的に顔が映るのは嫌だった
- チャットを売りにしているがハングアウトで十分(便利)

ツールB



- いる場所で状況がわかりやすかった
- アバターには人を感じにくかった
- 顔が映らないので良かった
- チャットを売りにしているがハングアウトで十分(便利)



K株式会社の場合

業種：製造業 拠点数：国内約25 人数：約3400名



在宅でも人を感じれるのは良かった
こういうツールはありだね



でも、導入するのであれば費用対効果は？



ん～



K株式会社の場合

業種：製造業 拠点数：国内約25 人数：約3400名



元々導入していたけれど、コロナ禍を機に活用されるようになったツールは・・・

Google meet

Gsuite導入時から使えた(ビデオハングアウト)が説明しても一向に使われず
コストの高い電話会議やP社のTV会議ばかりを使う
コロナ禍で改めて説明したら初めて聞きましたのような感覚
今では社内ではなくてはならないツールの一つとなっています。

パソコンからのFAX送信

昔からあり最新ツールでもなんでもないが
今まで印刷してFAXを送っていたがダイレクトにパソコンから送信を行うように

受注の為の出票が紙からPDFへ

昔からできるが現場からの拒絶も大きく実施していなかった
結果的にプリンタ台数を減らす事業所もできた



K株式会社の場合

業種：製造業 拠点数：国内約25 人数：約3400名



ツール・サービスの導入や活用で、失敗と感じたこと

あたりまえだが
目的やKPIを明確にせずツール導入をすすめても煮詰まる

一方で
仕方なしでも使ってみて初めて使われる(活用される)
追い込まれることにより活用手段が見つかる

使えるかどうかわからない
たまたま備わっていた機能でも役に立ったこともある
面白いなと思ったものをどんどん試してみるのもありかな、、
今の悩みです



K株式会社の場合

業種：製造業 拠点数：国内約25 人数：約3400名



申込者からの質問 <Pick Up>

「デジタルワークプレイス」についてどのように定義づけていますか

パソコンやスマートフォンを利用して大部分の業務が行える環境がデジタルワークスペースだと思います。クラウドやBYOD・ゼロトラストなどは手段であって、必ずしも必要要件ではないと思っています。

コミュニケーションを取りにくい環境で役立つツールについて

チャットツールです。チャットツールを使いだしてから情報伝達の早さは格段にあがり、発信のハードルも下がっています。特にパソコン・スマートフォンの両方で使えるチャットツールは仕事の上では相当便利だと思います。

事前アンケート結果

Q1:コロナ禍をきっかけに導入したツール・サービス①



リモート会議（17）		
Zoom	9	TeamsやZoomなどの会議システム／Zoom（新規）、Teams(導入範囲拡大)を導入した Zoom クラウドプロキシ／zoomの共有アカウント等テレワーク・リモートmtgの環境整備関係
Teams	6	既に導入済だが遊休状態だったツール(Teams等)をコロナ禍で有効活用することになった オンライン会議、チャット用
webex	1	
Meet	1	GoogleWorkspaceへの移行予定を早め、Meet等利用
チャット／コミュニケーション（3）		
LINEWORKS	1	今後チャットツールでLINEWORKSを考えています（個人的にLINEは好きではないのですが…）
Slack	1	
Google Currents	1	

Q1:コロナ禍をきっかけに導入したツール・サービス②



リモート（仮想）デスクトップ（4）		
Splashtop	1	
RemoteView	1	
AmazonWorkSpaces	1	
Soliton RemoteDesktop	1	
ストレージ（1）		
サービス名回答無	1	社内と自宅からアクセスできるよう共用できるクラウドストレージを契約
決済・ワークフロー（2）		
パソコン決済Cloud	1	
Kintone	1	
ネットワークインフラ・セキュリティ（4）		
IDaaS	1	
RDSとWoLサーバーやVPNサーバー（fortiGate UTM）の強化	1	
Prisma Access	1	まだ導入していないが、Prisma AccessなどのSASE製品の導入を検討
WEBアプリケーション脆弱性 OWASP-ZAP	1	利用を承認

Q1:コロナ禍をきっかけに導入したツール・サービス③

その他（10）		
RemoteView	2	
RemoteCall	1	
電話サービス	1	リモートワーク主体のワークスタイルへの変更をきっかけに見直し検討中
電話ツール	1	社外から利用できる電話ツールを検討中
仮想事務所	1	
Vimeo（動画配信）	1	
勤怠管理ツール	1	
電子サインツール	1	
テレワークサポーター	1	
無し（4）		
新たに導入したツールは無い	2	
元から導入	2	元々、業務ツールはMicrosoft365、勤怠/管理会計/人事等のシステムもクラウドサービスを採用していたため、そもそも境界防御の概念もない） 気になるのはEDR+SOC

Q2: ツール・サービスの導入・検討の目的（課題など） ①



在宅勤務の実現／環境整備（10）

在宅勤務への対応

在宅勤務ができる環境整備のため

在宅勤務を可能にするため、セキュリティを担保しつつ。

自宅からの自席CADPCの利用

SASEを導入して在宅勤務者に多層防御の環境を提供したいです。

テレワーク環境の構築、テレワーク時の勤怠管理、紙、押印の電子化

Zoom（新規）、Teams(導入範囲拡大)：オンライン会議、配信講義 OWASP-ZAP：外注していた業務の内製化

・目的 -- 実はコロナ禍ではなく、働き方改革が主な目的だった ・課題 -- 苦手意識を持たず、積極的にいろいろな使い方を覚えて欲しい

80名一斉に在宅勤務が可能になった。VPN接続では個体認証が必要なシステムへのログインができないため、リモートデスクトップサービスの導入が必須だった。

テレワークのPC利用においてPC貸与（持ち帰り）を容認の上、標準規則とすべきか、自宅PCからのリモートアクセスを標準とすべきか、セキュリティと利便性を天秤にかけた判断と決定が未だに課題

リモート会議（6）

オンライン会議（2）

会議の利便性

リモート会議実施のため

取締役等のWEB会議で品質を求めている

クライアント要請でのteams会議

Q2: ツール・サービスの導入・検討の目的（課題など）②



社内コミュニケーション（４）

日常コミュニケーション

社内情報共有やコミュニケーションツール

コミュニケーションツールとして活用、Vimeoは新卒募集時に会社案内をリアルではなく動画配信で行った

リモートワーク主体のワークスタイルとなり雑談コミュニケーションが無くなったため、それを保管するツールを検討したい。

社員のITリテラシー（２）

slack, G Suite 新しい機能などは全員が使いこなせてはいない

各ソフト一長一短があり「使い難い」ものが多い。社内でレクチャーをしスタートしたが、チャットなども結局は使わなくなってしまった

他（１）

今後のセキュリティの方向性として、コストを度外視すれば5G+DaaS（Thin Client）が望ましいように思うが、中小企業等においてはコストは重要なポイントであり、EPP+EDR搭載のFAT端末を外部委託SOCで管理し、WebフィルタリングとしてSWGを利用するという形がコストとセキュリティのバランスにおいて最適解ではないかと考えている為。

Q3:元々導入済だが コロナ禍を機に活用されたツール①

リモート会議 (16)		
Teams	10	既に導入済だが遊休状態だったツール(Teams等)をコロナ禍で有効活用 導入範囲拡大⇒利用頻度の単純計算で5～6倍に増加／コロナ発生の約1ヶ月前位に公開
Zoom	3	
Meet	2	
WebEx	1	
TeleOffice (オンライン会議)	1	
チャット／コミュニケーション (5)		
slack	2	チャネルを体系化、増えた
共有スケジュールボード	1	利用率が上がりました
ハングアウト	1	
LineWORKS	1	
リモートデスクトップ・リモート接続 (4)		
Horizon	1	コロナ禍以前より使用していたが、ライセンスを追加した。
SDP製品のAkamai EAA	1	大活躍しました。これが無ければコロナを乗り切れなかったと思います。
Azure WVD (Windows Virtual Desktop)	1	
RemoteView (リモート接続)	1	

Q3:元々導入済だが コロナ禍を機に活用されたツール②



ストレージ (4)		
Googleドライブ	2	
BOX	1	
DropBox	1	
決済・ワークフロー (1)		
電子決済、ワークフローシステム	1	既に導入していたことが功を奏した。
ネットワークインフラ・セキュリティ (2)		
YAMAHAルーターのVPNアプリ	1	ライセンスを追加した。
VPN (SonicWall)	1	
モバイル通信／社給スマホ等 (2)		
Universal One mobile	1	
携帯電話。	1	ツールではないが、社内ミーティングテーブルは密を避けるためフリーアドレスのように利用されていました。
その他 (4)		
特になし	2	
G Suite	1	利用を開始して数か月経ったところで、役に立った。
会議室	1	

Q4:ツール・サービスの導入や活用で失敗と感じたこと①



システム・サービス仕様（４）

Horizon環境でGoogle Meet他のWeb会議ツールの音声が出ない問題が発覚した。

RemoteViewはBitLockerと共存できないことが導入後にわかった。

バーチャルデスクトップは手元PCと仕事環境を分離できる反面、手元のマイクが使えなかった。兼務で環境調整にかかれな
い間、マイクを使うTeamsは手元PCのブラウザ版で対応してもらうなど一部混乱が生じた。 環境の展開にかかる検証や初期
対応にもっと時間を確保したかった。

管理会計を行う目的で導入した「ZAC」。 医者の不養生とは良く聞かすが、まさに「ITコンサルのコンサル不足」と言える状
況で、使い勝手も料金体系もヒドイ有様。クラウドのくせにオンプレミスがクラウド上に乗っかっただけの最悪ツール。w

運用・アカウント管理など（７）

メンバー追加やチャット履歴のバックアップなど

アカウントをとりましたが（利用料支払でコストアップ）利用率が低いのもったいないです

Googleドライブの共有ドライブ機能を開放したが、統制が出来ていない

本社情シスの設定・運用が不完全でTeamsの機能が使用できないものがある

Teamsでのグループ作成ルールの不備

Zoom（新規）：無料アカウントから有料切り替える時に、アカウント移行に失敗

サービスの申し込みが多かったようで、サービスの申し込みからサービスINまでに時間を要した。 ツールの初期設定は手順
書を作って案内したが、手順書を見てできる人とできない人がおり、 社内展開までに時間を要した。

Q4:ツール・サービスの導入や活用で失敗と感じたこと②



ネットワーク要因（3）

WEB会議ツールが複数になり、統制が取れない インターネット通信激増

テレワークをVPN接続を利用した場合、標準で社内DNSが適用されずホスト名が引けないこと。ホスト名ベースで設定を行っていた事例（ファイルサーバーなど）でいくつかのヘルプデスクが発生した。

VPNのライセンス数の確保とネットワーク負荷への配慮

セキュリティ（1）

利便性とセキュリティの両立が難しい。

人的要因（1）

Slackを導入したが人によってはメールしか確認しない。 便利なツールを導入してもマニュアルやルールを整備しないと浸透しない。

その他（3）

特に無し（2）

今の所それなりに使っているので「失敗」と思ったところはないです。

Q6：事例紹介者に聞いてみたいこと

システム・ツールの選定（3）

導入して良かったツール、失敗したツール

コミュニケーションを取りにくい環境で役立つツールについて

リモート接続サービスを提供している事業者はいくつもあるが、サービスの乗り換えをした事例があればその理由をうかがいたい。

費用対効果（3）

新規導入したツールの費用対効果、費用確保

数あるツールの中で、何がポイントでそれを選んだのか、決め手をお聞かせください。

永遠の課題であるセキュリティと利便性について工夫した点・投資に対する効果をどのように計測したか

運用・その他（6）

新しいものを導入する際に拒否反応についての対応

「デジタルワークプレイス」についてどのように定義づけていますか。

クラウドサービス利用時のセキュリティ PCのBYODを許容してもよいか。

どんな業務をデジタル化したか？もしくはデジタル化できる可能性の高い業務は何か？

いずれのツールや仕組みでも導入当初は反発や思い通りに動かない事もあったかと思うが、運用に乗せるまで何を先にしておけば良かったか

リモートでのワイガヤの環境をどのように考えているのか。気軽に雑談でき環境を作れるか。

